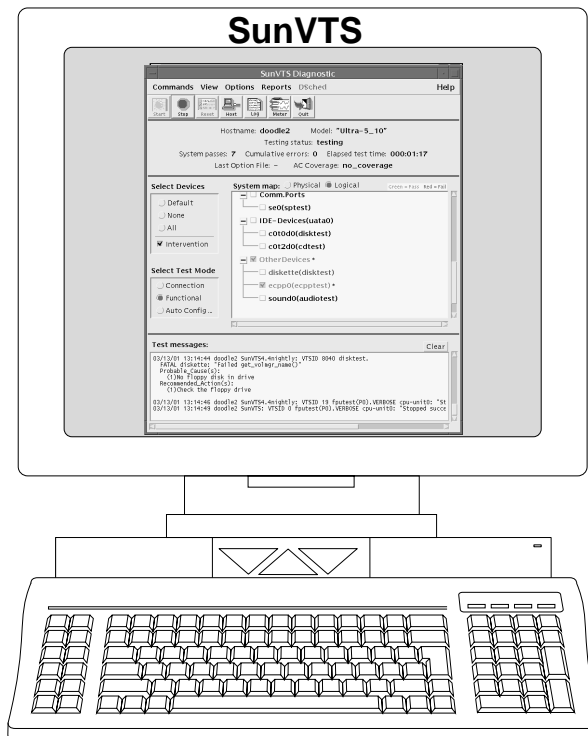


---

# SunVTS™

## リファレンスカード



THE NETWORK IS THE COMPUTER™

Sun Microsystems, Inc.  
901 San Antonio Road  
Palo Alto, CA 94303-4900  
U.S.A

Part No: 816-1500-10  
Revision A, 2001 年 8 月

---

---

## SunVTS の起動

スーパーユーザーになり、SunVTS™ の bin ディレクトリ (デフォルトは /opt/SUNWvts/bin) に移動します。

ローカルシステムの場合は、以下のように入力します。

```
# ./sunvts
```

SunVTS カーネルが動作している遠隔マシンの場合は、以下のように入力します。

```
# ./sunvts -h 遠隔ホスト名
```

遠隔ホスト名には、接続する遠隔マシンのホスト名を指定してください。

SunVTS OpenWindows™ または OPENLOOK™ インタフェースを起動する場合は、以下のように入力します。

```
# ./sunvts -l
```

SunVTS TTY インタフェースを起動する場合は、以下のように入力します。

```
# ./sunvts -t
```

注・SunVTS のデフォルトのインタフェースは、共通デスクトップ環境 (CDE) です。

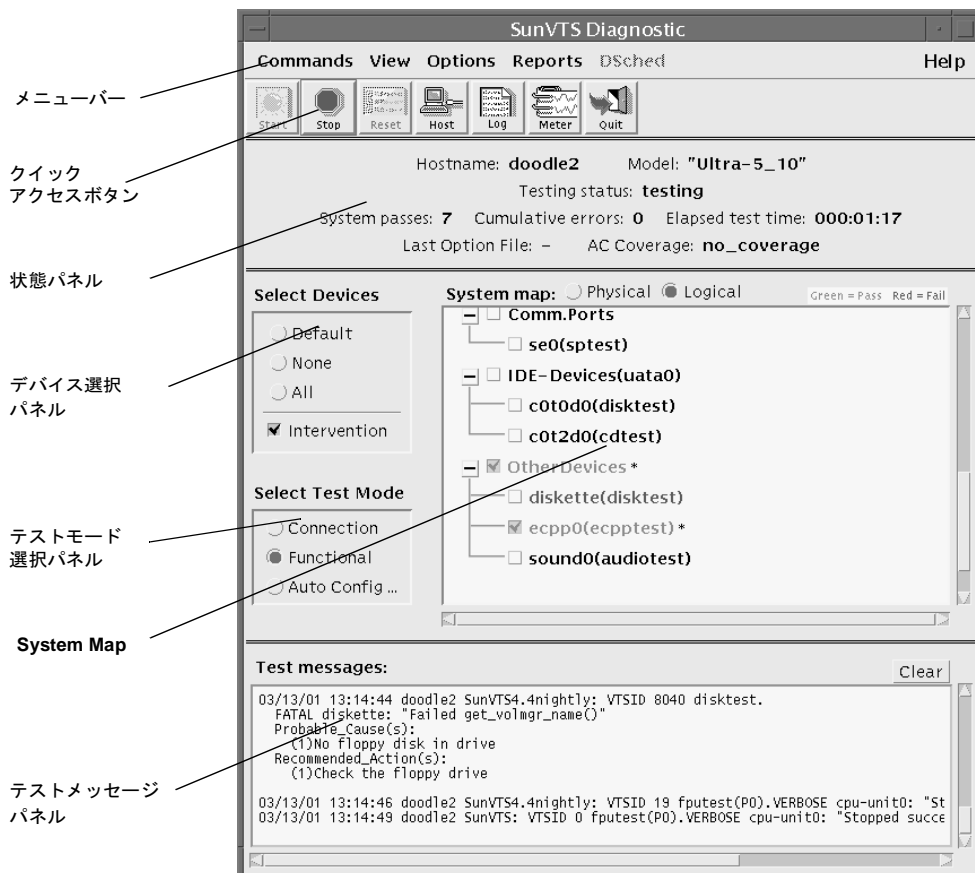
TTY インタフェースの共通コマンドを以下に示します。

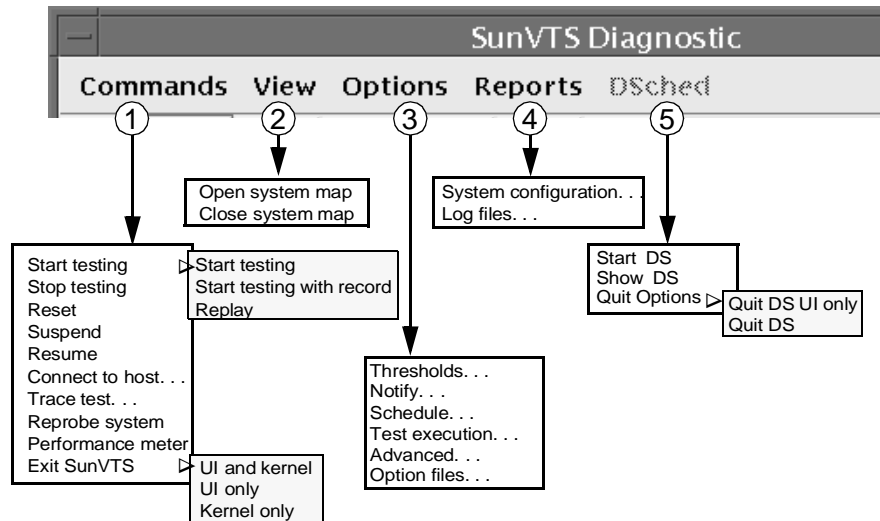
---

キー	説明
Tab	他のパネルを選択します。選択したパネルはアスタリスク (*) で囲まれて表示されます。
Return	オプションの選択、メニューの表示に使用します。
スペース	選択の有効・無効を切り替えます。
矢印	選択したパネルにカーソルを移動します。
Escape	ポップアップメニューまたはウィンドウを終了します。
Control-F	オプションウィンドウを順方向にスクロールします。
Control-B	オプションウィンドウを逆方向にスクロールします。
Control-X	TTY インタフェースを終了します。ただし、テストマシン上の SunVTS カーネルは動作したままです。

---

## SunVTS CDE メインウィンドウ





## 1. Commands

- **Start testing:**
  - Start testing—有効にしたテストを開始
  - Start testing with record—有効にしたテストを開始し、テストセッションを記録
  - Replay—記録したテストセッションを再生
- **Stop testing**—テストセッションを終了します。
- **Reset**—パスおよびエラーを0にリセットし、一時停止します。
- **Suspend**—実行中のテストセッションを一時停止します。
- **Resume**—一時停止中のテストセッションを再開します。
- **Connect to host**—この SunVTS ユーザーインターフェースをリモートシステムの SunVTS カーネルに接続するためのダイアログボックスを開きます。
- **Trace tests**—Trace ダイアログボックスを開き、テストセッション中のすべてのシステムコールのログを作成するコマンドの使用を有効にします。メッセージをファイルまたは SunVTS コンソールに出力できます。
- **Reprobe system**—SunVTS カーネルで各テストを初期化し直します。
- **Performance meter**—Perfmerter パネルを開き、システムデバイスについてのグラフィカルな統計情報を表示します。
- **Exit SunVTS:**
  - UI and kernel—SunVTS ユーザーインターフェースおよび SunVTS カーネルを終了します。
  - UI only—SunVTS カーネルが稼動したままの状態での SunVTS ユーザーインターフェースを終了します。
  - Kernel only—SunVTS ユーザーインターフェースを表示したまま SunVTS カーネルを終了します。

## 2. View

- **Open system map**—System Map ですべてのデバイスを表示します。
- **Close system map**—表示を縮小し、System Map に主要なグループのみを表示します。

## 3. Options

(このカードの裏面を参照してください。)

## 4. Reports

- **System configuration**—システム構成を表示または印刷します。
- **Log files**—ログファイル情報の表示、印刷、削除をします。

## 5. DSched

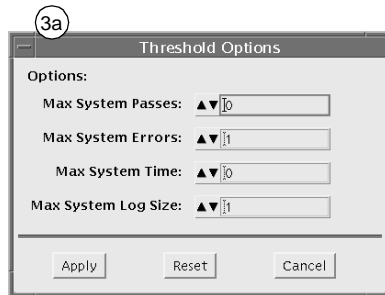
- **Start DS**—Deterministic Scheduler (DS) の機能を起動し、Deterministic Scheduler ダイアログボックスを表示します。
- **Show DS**—Deterministic Scheduler の終了後、Deterministic Scheduler ダイアログボックスを再び表示します。
- **Quit Options:**
  - Quit DS UI only—Deterministic Scheduler を実行したままの状態でのダイアログボックスを終了します。
  - Quit DS—Deterministic Scheduler ダイアログボックスを終了し、Deterministic Scheduler を停止します。

## 6. Help (上図では表示されていません)

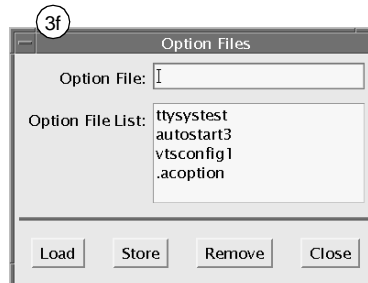
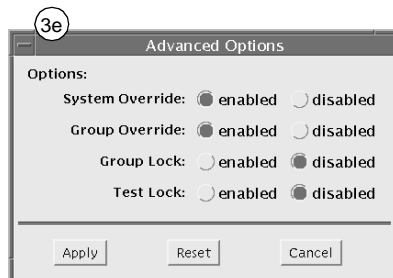
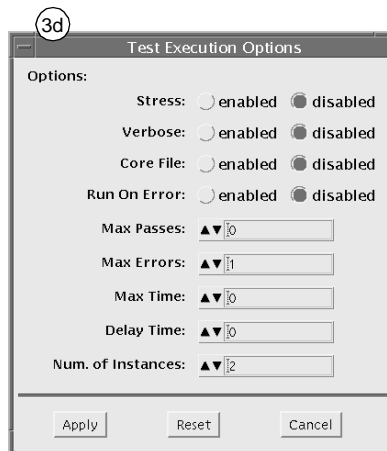
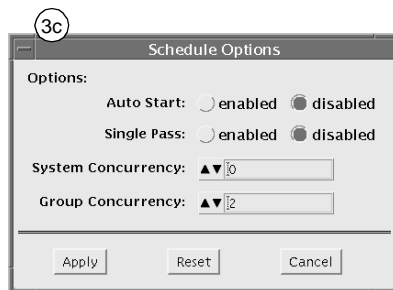
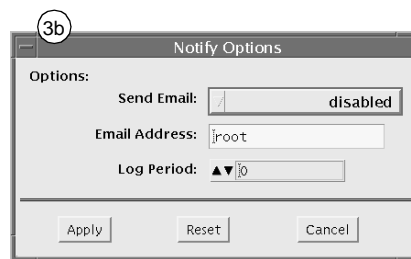
- **About SunVTS**—SunVTS のバージョン番号を表示します。

---

## SunVTS CDE Options メニュー



これらのダイアログボックスを表示するには、Options メニューから選択します (前面の項目 3 を参照)。



注 - ダイアログボックスの値を増加または減少させるには、矢印を使用します。

---

---

## SunVTS CDE Option メニューダイアログボックスについて

### 3a. Threshold Options

**Max System Passes**—すべてのテストに対する最大実行回数 (パス数) を指定します (制限なしにする場合は 0 を指定します)。

**Max System Errors**—すべてのテストに対する許容エラー回数を指定します (デフォルトは 1 です)。

**Max System Time**—すべてのテストに対する最大実行時間を分単位で指定します (制限なしにする場合は 0 を指定します)。

### 3b. Notify Options

**Send Email**—テスト状態を記録した電子メールを送信します。

**Email Address**—テスト状態を記録した電子メールの送信先を指定します。

**Log Period**—テスト状態を記録した電子メールを送信する間隔を分単位で指定します。

### 3c. Schedule Options

**Auto Start**—SunVTS の開始時にテストを開始します。通常は Options Files オプションと共に使用します。

**Single Pass**—選択した各テストを 1 回だけ実行します。

**System Concurrency**—システム全体で同時に実行するテストの数を指定します。

**Group Concurrency**—同時に実行するテストグループを指定します。

### 3d. Test Execution Options

**Stress**—テストの負荷を増加させます (一部のテストのみ)。

**Verbose**—SunVTS コンソールウィンドウに詳細メッセージを表示します。

**Core File**—Disabled に設定すると、コアファイルを作成する代わりにメッセージを記録することができます。

**Run On Error**—エラーの回数が最大許容エラー回数を超えると、システムが停止します。各テストにおいて、1 つのエラーにつき 3 つまでのエラーメッセージを報告することができます。

**Max Passes**—1 つのテストに対する最大実行回数 (パス数) を指定します。

**Max Errors**—1 つのテストに対する許容エラー回数を指定します (制限なしにする場合は 0 を指定します)。

**Max Time**—1 つのテストに対する最大実行時間を分単位で指定します (制限なしにする場合は 0 を指定します)。

**Delay Time**—連続する 2 つのテスト実行の間の休止時間を秒単位で指定します。

**Number of Instances**—スケーラブルテストに対するインスタンス数を指定します。

### 3e. Advanced Options

**System Override**—すべてのテストグループオプション、およびシステムグループオプションを Advanced Options ウィンドウでの設定に変更します (デフォルトは Enabled)。

**Group Override**—System Override が有効になっていなければ、すべてのテストシステムオプションを無効にし、このウィンドウで指定したグループオプションを有効にします。

**Group Lock**—特定のテストグループに対する変更を禁止します。

**Test Lock**—Group Override または System Override が有効になっていない限り、テストシステムのオプションに対するこのウィンドウからの変更を禁止します。

### 3f. Option Files

**Options File Load/Store/Remove**—ロード、格納、削除するファイルを指定するファイル名フィールドを表示します。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。

Sun、Sun Microsystems、SunVTS、OpenWindows は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。Sun のロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

原典:	SunVTS Quick Reference Card Part No: 816-0861-10 Revision A
-----	---